



本校の授業に向けた視点

教育課程編成上の工夫	指導内容・指導方法の工夫	評価の工夫	校内における研究や研修の工夫	保護者や地域との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>朝学習の時間の確保</li> <li>算数習熟度別指導を通じた、児童一人一人に応じたきめ細かい指導の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童一人一人が「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」を感じることができる指導</li> <li>思考力、判断力、表現力の向上</li> <li>学習規律の定着</li> <li>算数における、児童の実態、学習内容に合った習熟度別指導の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の目標に即した、毎時間のねらいの明確化</li> <li>「いつ」「どのように」など評価方法の明確化</li> <li>児童の自己評価(振り返り)の充実と「自ら学ぶ力」の向上</li> <li>肯定的な評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「相互理解を深め、よりよく関わり合える児童の育成」という研究主題を掲げ、関わり合いのよさを実感しながら各教科等の力を向上させる児童を育成する</li> <li>言語活動の充実・ICT活用に関する研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の人材や施設の有効活用</li> <li>学習の基盤となる基本的生活習慣の定着</li> <li>家庭学習の定着</li> </ul>